



「川」の映画が
「さだるマン」

特集
映画

やさだるマン



～映画で三原を元気に～

市内で全てのロケが行われた映画「やさだるマン」。この映画には「三原を舞台に映画を撮ってほしい」、「その思いに応えたい」、「映画作りに参加したい」というさまざまな思いが込められています。今月号は映画作りに関わった皆さんの思いに迫ります。



三原を舞台に映画を撮ってほしい

「映画で三原を元気にしたかった」。こう話すのは、三原を舞台にした映画の製作をめざす市民グループ「三原映画をつくる会」の代表幹事 岩本由美さんです。

三原映画をつくる会は、映画「やさだるマン」の大森研一監督が、別の映画のロケで三原を訪れたことがきっかけで5年前に設立されました。

設立当初のメンバーはわずか10人。仲間を増やすために、岩本さんらはイベント会場などでメンバーを募集しました。初めは相手にされないことも多くありましたが、地道に活動を続け、約300人が集まりました。

「映画作りについてはみんな素人。全てが手探りだった」と岩本さん。メンバーで話し合いながら勉強会や交流会、監督との打ち合わせを重ね、撮影の実現に向けて一つずつ準備を進めていきました。時にはメンバー同士の意見が擦れ違うことや、仕事とのスケジュール調整がうまくいかなかったなど、苦労もあったようですが、「なんとしても、大森

監督に三原の映画を撮ってもらいたい」と諦めることはありませんでした。

そのような活動が実を結び、昨年、映画「やさだるマン」の製作が決まりました。岩本さんは「本当にうれしかった」と振り返ります。製作が決まってからも、市内企業や行政への協力の依頼や、撮影スタッフの受け入れ体制の整備、エキストラの募集など、メンバーは映画製作のサポートを続けました。

映画の公開を控え、岩本さんは「大森監督には感謝しかない。市民の皆さんに映画を見てもらい、三原の魅力を再認識してもらえれば」と笑顔で話します。



映画「やささだるマン」



© 2018「やささだるマン」製作委員会

出演 佐藤永典、須藤菜麻、竹達彩奈、
宮川一朗太、野々村俊恵、清水美沙、
目黒祐樹 ほか
監督・脚本 大森研一
ストーリー 市の公式マスコットキャラクターやささだるマンを盛り上げようと、三原城築城450年を機に若者たちが奮闘する青春物語

市内先行上映会

とき 12日(月・振休)①11時~②14時30分~③18時~
ところ 芸術文化センター ポポロ
内容 映画の上映、監督・出演者の舞台あいさつ
入場料 前売り券1,000円、当日券1,300円
販売場所 ポポロ、道の駅 みはら神明の里、三原観光協会

ロケ地マップを作製しました

フィルム・コミッションみはらでは、三原映画をつくる会などと協力し、映画を見た人が、市内のロケ地を巡ることができるよう、マップを作製しました。マップは映画の上映会場などで配布します。



フィルム・コミッションみはら

市や商工会議所、観光協会などで組織するフィルム・コミッションみはらは、映画やテレビ番組などの撮影を支援しています。撮影を通じて、地域の知名度や文化の向上、さらには、地域経済の活性化をめざしています。

🗣️ 問い合わせ先

全てのロケを市内で行なった今回の映画では、市民エキストラのダンスのレッスンや、撮影のときの食事や駐車場の準備など、三原映画をつくる会をはじめ地元住民のサポートが必要不可欠でした。短い期間での撮影で大変でしたが、全力のサポート



その思いに応えたい

映画「やささだるマン」でメガホンを取った大森研一監督は「三原映画をつくる会の皆さんの思いがすごく伝わってきたからこそ、必ず三原での映画の撮影を実現しようと思いました」と話します。



映画作りに参加したい

南小学校の児童たちは市民エ



▲大森研一監督

トがあつたからこそ、無事に終えることができました」と大森監督。「映画の公開まで、あとわずかですが、三原映画をつくる会の皆さんと一緒に歩いて歩んでいきたいです」と力強く話します。

キストラとしてダンスシーンに参加しました。「地元での映画撮影はめったにないことなので、子どもたちにとって、とても貴重な経験になる」と池田彰夫校長は参加を決めました。
休憩や放課後の時間を使いダンスの練習を重ねた児童たちは、「ダンスを覚えるのは大変だったけど、練習したことが本番で出し切れて、うれしかった」、「緊張したけど、楽しかった」と笑顔を見せます。
「私たちが住む三原のことをたくさんの人に知ってもらいたい」と映画の公開を控え、児童たちの期待は膨らみます。



▲笑顔で元気よく踊った南小学校の児童たち

🗣️ フィルム・コミッションみはら(観光課内)

☎ 0848・67・6015



おわりに

さまざまな人が関わり、その人たちの思いが込められた映画「やささだるマン」。インタビューに応えてくれた皆さんは、たくさんの人に映画を見てもらい、三原のことを知ってもらいたいと話していました。
映画の中には三原の町並みや祭り、そして市民が多く登場します。映画を見ることで、普段は気付かない三原の魅力に気付くことができるかもしれません。